上手	の振り返りシート(令和5年度	.夫加力)			1 F.	以•史机口	令和6年6月2
業名	廃棄物収集車両更新事業	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略 該当
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり			スマートシティ 該当
基本情	青報						
	部 市民生活部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度のみ
当組織	環境政策課	- 廃棄物収集車両更新事業 - 廃棄物収集車両更新事業	予算	款	4	新規or継続	新規事業
	係 廃棄物対策係		科目	項	2	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード 611 名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
策体系	基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 佐野市廃棄物の処理及び清掃に関する	事業	開始年度		実施方法	直営
AK PT'ZIK	政策 1 環境にやさしいまちづくり	条例	期間	終了年度	R6	事業分類	その他内部事務
	施策 1 ごみの発生抑制と資源の有効活用	佐野市自動車等使用及び管理規定					
事業 机 1)事業	一般家庭から排出される粗大ごみや災害時の人手を要する重い荷	物の収集運搬にあたり、老朽化し	/部品訓	間達が困難な	となった垂直	豆式パワーケ	テート車を更新し、
業概要	全で適正なごみの収集運搬を実施する。 また、家庭から排出するごみをごみステーションまで持ち出すことが困り あることから、小型車両を購入し安全で効率的な収集運搬業務を見		i問収集	で、道路が	狭〈対象者	宅への収集	東が困難な箇所 か
2)目的	t i	(3)目標値					
- /		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6 R
目的		粗大ごみ収集運搬件数	件	240	240	240	_
事業に	 新規車両を更新し、乗車する職員の安全性の向上及び作業効率		世帯	250.0	250.0	250.0	
って成し	化を図ると共に、適正なごみ収集運搬作業を実施する。						
遂げたい 状態)							
)							
. 前年 原 1)活動	度の実績(活動及び費用対効果)説明 助実績 	(2)活動を説明する数値デ				D.F.	1
	・1 t トラック	活動指標	単位	R3	R4	R5	
	5月 入札執行	パワーゲート車台数	台	1	1	1	
	6月 契約締結	ふれあい収集車台数	台	1	1	2	
活動実績	12月 車両納車	34 t030 KA+ D3A	П				-
5年度に	1月 支払処理						
た主な活		事業費計	千円	0	0	2,014	
协容)	・パワーゲート車	一般財源	千円			2,014	
	6月 繰越明許費補正					2,017	
	12月 入札執行	特定財源(国・県・他)	千円				
	12月 契約締結	(うち受益者負担)	千円				
2 \ \T		/ 4 〉 市光	· / ·= —"	h n +# 1/2			
3) 活動	かによる効果 T	(4) 事業効果を説明する数			D4	DE	↓選択して下さ
		効果指標粗大ごみ収集運搬件数	単位件	R3 226	R4 189	R5 227	指標の性質 R4とR5 値が大きいほど良い 効果が」
果説明		かれあい収集利用世帯数	世帯	_	231.0		7,351100
定量及び	ふれあい収集利用世帯数は増加傾向となっている。	が低めい収集利用世帯数	世帝	191.0	231.0	235.0	1回が入さいはと良い 対果が3
定性)							
				1	<u> </u>	<u> </u>	1
	用対効果結果(自動判定)	1		1		41	
用(R5	とR4の一般財源増減) 費用が増加した	※10万円以上の増減により判断			timie is t	効果	La marenta de
効果	効果が上がった指標数 2指標 2指標 効果は変わらない指標数 0指標	-	弗	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
R5とR4の	効果が下がった指標数 0指標	<u> </u>	費	費用の増減無し			
膘値増減)	指標全体 効果が上がった	J	用	費用が増加した	0		
1)令和	度に向けた検討 ①5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見 ト車の納車管理を適正に行う。	見等を踏まえた検討課題、費用な	対効果[句上のための)課題		
, —-	では、100円では、100円である。 この 100円である 100円で	取組説明					
	事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事業効果を上げるための事務改善の検討 事業費の見直し検討 業務時間効率化のための事務改善の検討						
	特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)						

事業名	葛生清排	帚センター維持管理事業	実施計画事業or一般事業	—я́	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本性	青報								
	部	市民生活部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度網	繰り返し
+口 ハイベロぐ中	-m	T=1+2-T-1-22=H	古上注目とこと 外井笠田	マ竺	+4		+= 1D (1) (+	クルクエ	市₩

	部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	環境政策課		葛生清掃センター維持管理	予算	款	4	新規or継続	継続事業
	係	葛生清掃セ	ンター	事業	科目	項	2	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業	開始年度	Н6	実施方法	直営
	政策	1	環境にやさしいまちづくり		期間	終了年度	-	事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	ごみの発生抑制と資源の有効活用					•	<u> </u>

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 ごみ処理業務の継続及びごみ処理施設を適正に維持管理する。

(2)目的

(3)目標値

. ,								
		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的		ごみ焼却施設の稼働率	%	100	100	100	100	100
(本事業に	 ごみ処理施設の適正な管理と、搬入搬出ごみの適正な処理。	粗大ごみ処理施設の稼働率	%	100	100	100	100	100
よって成し 遂げたい	この処理 にはい過止な自注に、放入版山このの過止な処理。							
状態)								
D VIEV								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(工//山玉			7/20	チ末貝の	11ツ	
		活動指標	単位	R3	R4	R5
		ごみ処理施設の稼働日数	日	302	304	302
V-21/		可燃・資源ごみ等の搬入量	t	10,225	10,277	10,053
活動実績 (R5年度に 行った主か活 で管理、搬入・搬出(資源物含む)ごみなどの計量・管理など施						
	設の維持のための作業全般。	事業費計	千円	129,143	147,913	161,020
±013C)		一般財源	千円	55,457	66,350	80,513
		特定財源(国·県·他)	千円	73,686	81,563	80,507
		(うち受益者負担)	千円	62,021	64,403	64,867

(3)活動による効果

↓選択して下さい

効果説明 (定量及び 定性)

営業日の受け入れは確実に実施できており、粗大ごみ処理施設の 稼働予定日も予定どおり施設を稼働できている。

※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	半辺	K3	K4	KS	拍标の注具	R4CR5の比較
ごみ焼却施設の稼働率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
粗大ごみ処理施設の稼働率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用	(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	Ħ	効果が上がった指標数	0指標
,,,,,		効果は変わらない指標数	2指標
(R5EF		効果が下がった指標数	0指標
指標值均	温减)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した		\circ	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

設備等の経年劣化により、修繕費が増加傾向にある。

今後、施設を維持するためには基幹的な改修工事を検討していく必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

V	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	
---	----------	-------------------------	--

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

改修工事を含めた今後の葛生清掃センターのあり方を検討していく。

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

	葛牛清掃	センターは	克却灰等処理委託事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	般事業	市長公約	該当かり	総合戦略	該当か
		, , ,	也的人们是主义的子来	施策横断的な取組との関連性				該当なし		該当な
. 基本¶	情報			DEFFICIENT SO MILE PROPERTY	02 00	EX. 3 0.0		15(1) (1)		BX = 0
	部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し
当組織		環境政策課		葛生清掃センター焼却灰等	予算	款	4	新規or継続	継続	
		葛生清掃セン		処理委託事業	科目	項	2	市単独or国県補助	市単独	
	体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意	任意的	
女策体系	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり	廃棄物の処理及び清掃に関する	事業	開始年度	H9	実施方法	一部	
	政策 施策		環境にやさしいまちづくり ごみの発生抑制と資源の有効活用	法律、佐野市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	期間	終了年度	-	事業分類	その他内部	事務事
. 事業 概 (1) 事業	概要と目的及	*	画期間内)目標値							
『業概要	可燃ごみのク	焼却処理で発	き生した焼却灰やばいじんの最終処分を委	託する事業。						
2)目的	约			(3)目標値						
				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的				適正な処分率	%	100	100	100	100	1
本事業に tって成し			律に基づく構造基準を満たした管理型の							
遂げたい	処分場まで	連搬させ、適	正に埋立処分させる。							
状態)										
. 前年原 (1)活動		5動及び費用	対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	タ及で 単位	が事業費の打 R3	推移 R4	R5		
				可燃ごみの焼却量	t	9,228	9,920	9,413		
r #1 + + + + + + + + + + + + + + + + + +				委託処理した焼却灰量	t	898	827	805		
5動実績 R5年度に	MEDIT A MUDI		んの運搬と最終埋立処分の委託。	委託処理したばいじんの量	t	226	234	253		
った主な活	脱却火及び		出試験の実施。	事業費計	千円	38,040	35,901	36,615		
协内容)	焼却火及び	いよいしんの放送	射性セシウムの測定。			-	-	-		
				一般財源	千円	38,040	32,383	35,807		
				特定財源(国·県·他)	千円	0	3,518	808		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
				(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
	動による効果			(4) 事業効果を説明する数					↓選択して	
3)活動				効果指標 適正な処分率	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
3)活動				1個1トルツピカが	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わ
	排出されたる	まべての焼却の	アカバばいじんについて 滴正に処分でき	是此"6定万十						
加果説明 定量及び	BHUC1 U.S.	すべての焼却原	灭及びばいじんについて、適正に処分でき							
果説明	排出されたす	すべての焼却原	灭及びばいじんについて、適正に処分でき	EE-08277-						
カ果説明 定量及び	BHUC1 U.S.	すべての焼却原	灭及びばいじんについて、適正に処分でき	A311-0X277-F						
加果説明 定量及び 定性)	<i>t</i> .			EL-00277-						
加果説明 定量及び 定性) (5) 費用	用対効果結果	果(自動判定	E)					効果		
加果説明 定量及び 定性) (5)費用 質用(R5	<i>t</i> .	R(自動判定 財源増減)		※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった	
加果説明 定量及び 定性) (5)費用 (R5)効果	用対効果結身 5とR4の一般 効果が上が 効果は変わ	果(自動判定 財源増減) った指標数 らない指標数	E) 費用が増加した 0指標 1指標		費	費用は下がった	効果が上がった		効果が下がった	
果説明 定量及び 定性) 5)費 詞用(R5 効果 RSとR4の	 た。 用対効果結身 数果が上が	果(自動判定 財源増減) った指標数 らない指標数	E) 費用が増加した 0指標		費用	費用は下がった 費用の増減無し 費用が増加した	効果が上がった		効果が下がった	
の果説明 定量及び 定性) 5) 費月 (R5 効果 R5とR4の 標値増減)	用対効果結果 5とR4の一般 効果が上が 効果が下が 効果が下が 度に向けた検 和 5 年度の事	R (自動判定 財源増減) つた指標数 うた指標数 った指標数 指標全体 討 3 業実施におい	ぎ) 費用が増加した 0指標 1指標 0指標	※10万円以上の増減により判断	用	費用の増減無し費用が増加した			効果が下がった	
加果説明 定量及び 定性) 5)費用 (R5 効果 R5とR4の 標値増減) ・次年ほ	用対効果結果 をR4の一般 効果が上が 効果が上が 効果が下が 変に向けた検 和 5 年度の事	果(自動判定 財源増減) った指標数 らない指標数 った指標数 指標全体 討 事業実施におい Eに焼却灰及	き) 費用が増加した の指標 1指標 の指標 効果は変わらない かる反省点、環境変化や関係者からの意	※10万円以上の増減により判断	用	費用の増減無し費用が増加した			効果が下がった	

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

般 事業計画 4 新規or継続 2 市場or国県編動 2 義務or任意 R3 実施方法 R6 事業分類	次 4 頁 2 目 2 開始年度 R3 咚了年度 R6	一般 事業計画 期間限	を 該当ない 主複数年度 売事業 独事業 部委託 寺管理事業
4 新規or継続 2 ^{市申樂or田県補助} 2 義務or任意 R3 実施方法 R6 事業分類 R5 00 100	次 4 頁 2 目 2 開始年度 R3 §了年度 R6	4 新規or継続 継続 2 ^{市単独or国県補助} 市 2 義務or任意 任意 R3 実施方法 一記 R6 事業分類 施設維動	売事業 独事業 的事業 郡委託
4 新規or継続 2 ^{市申樂or田県補助} 2 義務or任意 R3 実施方法 R6 事業分類 R5 00 100	次 4 頁 2 目 2 開始年度 R3 §了年度 R6	4 新規or継続 継続 2 ^{市単独or国県補助} 市 2 義務or任意 任意 R3 実施方法 一記 R6 事業分類 施設維動	売事業 独事業 的事業 郡委託
2 市単独の「国際補助 2 義務の「任意 R3 実施方法 R6 事業分類 R6 事業分類 R5 00 100	2 3 2 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	2 南鲜绿ơr组织桶助 市埠 2 義務or任意 任意 R3 実施方法 一記 R6 事業分類 施設維計	独事業 的事業 『委託
2 義務or任意 R3 実施方法 R6 事業分類 R5 00 100	2 開始年度 R3 終了年度 R6	2 義務or任意 任意 R3 実施方法 一語 R6 事業分類 施設維持	的事業 都委託
R3 実施方法 R6 事業分類 R5 00 100	R3 R4	R3 実施方法 一语 R6 事業分類 施設維持	8季託
R6 事業分類 R5 00 100	R3 R4	R6 事業分類 施設維	
R5 00 100	R3 R4		· 管理事業
R5 00 100	R3 R4		
00 100		14 D5 D6	
00 100		14 D5 D6	
00 100		M D5 D6	
00 100		14 D5 D6	
00 100		TO I NO	R7
		100 100 10	-
	100 100	100 100 10	_
	写業費の推移		
R5	R3 R4	₹4 R5	
300	302 301	301 300	
10 60 646	67.740 60.646	540 50 540	
10 68,640	57,740 68,640	,640 68,640	
40 68,640	67,740 68,640	,640 68,640	
0 (0 0		
0 0	0 0	0 0	
0 0	0 0	0 0	
			~T+1,
1 25		CT NO HIGHES	
	1001 100	100 100 値が大きいほど鬼	効果は変わらな
00 100		100 100 値が大きいほど良 100 値が大きいほど良	
00 100		100 100 値が大きいほど良 100 100 値が大きいほど良	
00 100			
00 100			
00 100			
00 100		100 100 億が大きいほど良	
00 100 00 100 効果	100 100	100 100 個所大部(IBZB) 効果	が 効果は変わらな
00 100 00 100 効果	100 100	100 100 個所大部(IBZB) 効果	が 効果は変わらな
00 100 00 100 効果	100 100	100 100 個が大きいほど良	が 効果は変わらな
<mark>40</mark> 40	R3 R4 302 301 67,740 68,640 67,740 68,640	,640 ,640 0	68,640 68,640

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

尹耒石	葛生清排	帚センター	破砕屑処理委託事業	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当な
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当な
基本	_	T				1 -				
71176006th	部	市民生活部		予算中事業名	マ竺	会計		事業計画	単年度	
⊒当組織	課 係	環境政策課 葛生清掃セ		■ 葛生清掃センター破砕屑処 理委託事業	予算 科目	款	-	新規or継続 市単独or国県補助		事業
	1 ¹ / ₁ 体系コード		名称	根拠法令、条例等	171	<u>項</u> 目		義務or任意		当事来 り事業
	其木日煙		美しい自然、環境と調和するまちづくり	廃棄物の処理及び清掃に関する	事業	開始年度		実施方法		委託
改策体系	政策		環境にやさしいまちづくり	法律、佐野市廃棄物の処理及		終了年度	- 115	事業分類		
	施策	1		び清掃に関する条例		11 J		子术乃从	2 7 12. 32.	3 3,3 3
(1)事	業概要		十画期間内)目標値	終処分を委託する事業。						
(2)目	的 I			(3)目標値	774 TT	5.0	5.	5.5	5.6	-
目的				効果指標 適正な処分率	単位 %	R3 100	R4 100	R5 100	R6 100	R7
(本事業に	破砕層を決	・ 律に基づく構	造基準を満たした管理型の処分場まで運		70	100	100	100	100	1
よって成し 遂げたい		正に埋立処分								
迷りだい 状態)										
. 前年 (1)活		舌動及び費用	目対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ				DE		
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				不燃ごみ、粗大ごみの処理量	t	554	577	577		
5動実績				委託処理した破砕屑量	t	56	54	54		
3多年度に	適正な破る	枠屑の運搬と	最終埋立処分の委託。							
	最終処分均	也がある米沢i	市への環境保全協力金の支払い。	事業費計	千円	1,966	1,891	1,972		
動内容)				—————————————————————————————————————	千円	1,966	1,706	1,928		
				特定財源(国・県・他)	千円	0	185	44		
				(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
3)活	動による効果	!		(4) 事業効果を説明する数	な値デー	タの推移			↓選択して	下さい
, o , , , ,	233,00,00,00,00,00	`		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
+ EH = H O D				適正な処分率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わら
か果説明 定量及び		すべての破砕	屑について、適正に処分できた。							
定性)										
		果(自動判定		The state of the s				** H		ľ
	5とR4の一般 効果が上か	的源増減) った指標数	費用が増加した 0指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった	効果 効果は変わらない	効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わ	らない指標数	1指標		費	費用は下がった	7,2,100 = 1,0		7,551.40 1 70 210	
(RSER48) 旨標値増減)	効果かりな	った指標数 指標全体	<u>0指標</u> 効果は変わらない		用	費用の増減無し		$\overline{}$,
	度に向けた 検 和 5 年度の	(討 事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意	見等を踏まえた検討課題、費用え	対効果(句上のための	D課題			
続して安	定定的かつ適	正に破砕屑の)処分を実施していく。							
<u></u> 続して安	定定的かつ適	正に破砕屑の)処分を実施していく。 							
			の処分を実施していく。 	1 取組説明						

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

177	O) 1/17()				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,						
事業名	佐野労賃	基準協会	参画事業	(葛生清掃センター)	実施計画事業or一般事業	— <u></u> f	 般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
7.4.1	12237712		<u> </u>	(13111111111111111111111111111111111111	施策横断的な取組との関連性					スマートシティ	該当なし
1. 基本情		T									
+D >1740044	部	市民生活部			予算中事業名	会計			事業計画	単年度	
担当組織	課	環境政策課			佐野労働基準協会参画事		款		新規or継続	継続	
	係 葛生清掃センター 体系コード 611			<i>A</i> 7 1/h	業(葛生清掃センター) 根拠法令、条例等	科目	<u>項</u> 目		市単独or国県補助 義務or任意	中里35 任意的	中事業
		_			(松)	車₩					営
政策体系	基本目標			環境と調和するまちづくり	 労働安全衛生法第19条		開始年度		実施方法		_
	政策		環境にやさし		プ国女王国工広先13米	州川山	終了年度	-	事業分類		事業
	施策	1	こみの発生担	別と資源の有効活用]					
2. 事業制	2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値										
(1)事業	(1)事業概要										
事業概要 佐野市労働基準協会への参画及び負担金の支出。											
(2)目的	勺				(3)目標値						
					効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的					安全衛生委員会の開催数		4	4	4	4	4
(本事業によって成し				災害防止及び労働者の労							
遂げたい	働条件、墹 	場環境、安全	全衛生対策の	向上・改善等を図る。						ļ	
状態)											
						l					
3. 前年周	度の実績(氵	舌動及び費用	月対効果)説	明							
(1)活動	動実績				(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の!	隹移		-	
					活動指標	単位	R3	R4	R5		
					労働者数	人	14	12	12		
				刀倒伯奴		14	12	12	-		
江毛中往											
活動実績 (R5年度に											
				事業費計	千円	12	11	11			
動内容)				2 112 121					1		
					一般財源	千円	12	11	11		
					特定財源(国·県·他)	千円	0	0	0		
					(うち受益者負担)	千円	0	0	0		
(2))] [ト/士一"	1 0 tH 10		1	1 22401 =	
(3)活動	動による効果 T	:			(4) 事業効果を説明する数 効果指標	単位	90)推移 R3	R4	R5	→ 選択して 指標の性質	
					安全衛生委員会の開催数		4	4	_		効果は変わらない
効果説明	職場環境、	安全衛牛対	策の改善を実	施し、職員の働きやすさや安	文王南工女兵五の刑住奴						7,57111052,11201
(定量及び		が図られた。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
定性)											
(5) 費目	田がか里結り	果(自動判定	⊵)								
	られるの一般			費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		,
	効果が上が			0指標	X 1 0 / 51 35X 1 - 5 1 mm co. 5 1 3 1 1			効果が上がった		効果が下がった	
効果 (R5とR4の	効果は変わ	らない指標数		1指標		費	費用は下がった				
指標值増減)	効果かりが	らた指標数 指標全体	t	<u>0指標</u> か果は変わらない		用	費用の増減無し		0		·
		山水工件	^	77NWX17 7'0 V'	1		S S S S S S S S S S S S S S S S S S S				Į.
4. 次年月	度に向けた検	討									
(1) 令和	15年度の	事業実施にお	ける反省点、現	環境変化や関係者からの意見	見等を踏まえた検討課題、費用	対効果に	句上のための	D課題			
継続して安	全で衛生的	な職場環境の	の確保に努める	5.							
(=\ :=		//=mp= /	-L ^~ ·	- 							
(2) 上記	记反省点及征)課題を踏ま	えた、令和6年	F度及び令和7年度の取組	取組説明	1					
П	事業の在り	方検討 (廢⊩	、休止、再編成	受益者負担の見直しなど)	4X形丘市兀 4万	<u> </u>					
			事務改善の検								

作成•更新日 令和6年8月9日

事業名衛生センター管理運営事業費実施計画事業or一般事業一般事業市長公約該当なし総合戦略該当なし施策横断的な取組との関連性SDGs該当なしコンパクトシティ該当なしスマートシティ該当なし

1. 基本情報

	部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織	課	衛生施設室		 衛生センター管理運営事業	予算	款	4	新規or継続	新規事業
	係				科目	項	2	市単独or国県補助	市単独事業
	体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目	3	義務or任意	任意的事業
政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	廃棄物の処理及び清掃に関		開始年度	R5	実施方法	一部委託
IXXX PTVX	政策	1	環境にやさしいまちづくり	する法律		終了年度		事業分類	施設維持管理事業
	施策	1	ごみの発生抑制と資源の有効活用	7 0/4		•		•	

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要 |衛生センターを維持管理する事業として、バキューム車により搬入されるし尿、浄化槽汚泥の前処理を行い、佐野市水処理センターに送泥する。

(2)目的

(3)目標値

Ī			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
	目的		修繕件数(大規模な故障)	件			0	0	0
	(本事業によって成し	衛生センターの安定した稼働を維持し、適正な管理運営を行う。	故障による施設受入停止日数	日			0	0	0
	よって放し 遂げたい	南土でファーの女足のに稼働で配付し、旭正な自住産品で1] J。	苦情件数	件			0	0	0
	状態)								
	,								

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2) 活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/01	557C175		///	TARY O	±17	
	衛生センターの管理運営に伴う、汚水や臭気の分析、脱臭用活	活動指標	単位	R3	R4	R5
	性炭の交換等の保守管理業務委託や衛生センターの維持管理業 務委託、受入設備のスカム破砕ポンプ用の一部配管及び配管サ	衛生センターし尿等搬入量	kℓ	29,754	29,076	28,026
活動実績	ポート交換等の修繕工事を実施した。	水処理センター汚水送泥量	kℓ	0	28,356	33,458
	文人们にの水及の浄化値が加めの直で水五板、紅野巾水処理	投入原水等分析回数		41	58	61
、 行った主な活 動内容)	ロググーへいがん(かずは、僧)ちゃりカ大ルオキがいた。	事業費計	千円			73,145
到内台)	**************************************	一般財源	千円			73,120
	事業費については、令和5年9月まで佐野地区衛生施設組合 で運営していたため、予算構成が佐野市と違うことより令和3年	特定財源(国·県·他)	千円			25
	度、4年度は未記入、令和5年度は10月からの半年分を記入。	(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
+L CD = ¥ DD		修繕件数(大規模な故障)	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
勿果説明	大規模な故障等による稼働停止も無く、安定した稼働を維持し、	故障による施設受入停止日数	日	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
(定量及び 定性)	継続的な運営が出来ている。	苦情件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
ÆIL)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
か田	効果が上がった指標数	0指標
効果	効果は変わらない指標数	3指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標值増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した		\circ	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

し尿等の受入施設は社会基盤施設のひとつとして市民生活に必要不可欠な存在であり、引き続き、施設に運び込まれるし尿及び浄化槽汚泥を適正に、安定して安全に処理 出来るよう管理運営に努める。

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、	休止、	再編成、	受益者負担の見直しなど)
--	----------	------	-----	------	--------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し (現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

引き続き、受入前処理設備などの重要な設備に関して、年次計画をたて、機器の消耗品の交換や部品交換工事、保守点検を行い、設備や建物の状態、今後のランニングコストや受入状況に注視していく。

事業費の見直し検討

業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

令和6年7月27日 作成·更新日

事業名 みかもクリーンセンターごみ焼却処理施設長期包括運営管理委託事業 市長公約 該当なし 総合戦略 -般事業 実施計画事業or一般事業 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 市民生活部 一般 事業計画 期間限定複数年度 部 予算中事業名 会計 担当組織 課 環境政策課 みかもクリーンセンターごみ焼却処理 予算 款 4 新規or継続 継続事業 施設係 施設長期包括運営管理委託事業 科目 項 2 市単独の国県補助 市単独事業 係 2 義務or任意 任意的事業 体系コード 611 名称 根拠法令、条例等 Ħ 一部委託 基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり 事業 開始年度 R3 実施方法 政策体系 廃棄物の処理及び清掃に関 期間 終了年度 R8 事業分類 施設維持管理事業 政策 1 環境にやさしいまちづくり する法律 施策 1 ごみの発生抑制と資源の有効活用 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 事業概要 ・みかもクリーンセンターに搬入される可燃ごみの焼却及び施設の維持管理運営を令和3年4月1日より令和9年3月31日の6年の長期に亘り包括委託する。 (2)目的 (3)目標値 単位 R3 R4 R5 R6 R7 効果指標 目的 可燃ごみの搬入量 23,546 t 24,113 24,222 (本事業に ・みかもクリーンセンターに搬入された可燃ごみを、適正に処理を行 よって成し う。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 活動指標 単位 R4 R5 焼却処理したごみの量 25,090 t 24,482 24,419 ・令和3年4月1日より6年間の「みかもクリーンセンターごみ焼却処 委託費 千円 967,084 991,391 805,347 理施設長期包括運営管理委託事業Iの契約を日立造船・Hitz環 活動実績 境サービス共同企業体と締結したことにより、令和5年度において、 (R5年度に 継続的に焼却及び維持管理を包括委託し、安全且つ適正に実施 行った主な活 事業費計 千円 967,084 991,391 805,347 動内容) ・令和5年8月18日に発生した1号炉ろ過式集じん器ろ布焼損事 一般財源 千円 743,642 752,205 368,249 故対応では、原因究明をし再発防止策を実施した。 千円 239,186 特定財源(国·県·他) 223,442 437,098 千円 (うち受益者負担) (3)活動による効果 (4) 事業効果を説明する数値デー ↓ 選択して下さい -タの推移 指標の性質 R4とR5の比較 単位 R5 効果指標 R3 R4 可燃ごみの搬入量 24,113 24,222 23,546 t 効果説明 ・可燃ごみの搬入量は676 t 減少した。主な要因は人口減少と考 (定量及び えられる。 定性) (5)費用対効果結果(自動判定) 費用(R5とR4の一般財源増減) 費用は下がった 効果 ※10万円以上の増減により判断 効果が上がった指標数 0指標 効果は変わらない 効果が下がった 効果が上がった 効果 効果は変わらない指標数 0指標 費用は下がった 費 (R5とR4の) 効果が下がった指標数 費用の増減無 指標值増減) 用 指標全体 果は変わらない 費用が増加した 4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 ・予防保全による修繕等を定期的に行っており、焼却処理が停止する可能性は低い。 (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組 取組説明 □ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) П 事業効果を上げるための事務改善の検討

仕事	の振り返りシート(令和5年度	実施分)			作	成·更新日	令和6年	7月27日		
事業名	みかもクリーンセンターばいじん等処理委託事業	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし		
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし		
1. 基本	青報									
	部 市民生活部	予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度	繰り返し		
担当組織	課 環境政策課	みかもクリーンセンターばいじん	予算 款		4	新規or継続	継続	事業		
	係 施設係	等処理委託事業	科目	項	2	市単独or国県補助	市単独			
	体系コード 611 名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的			
政策体系	基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり	 廃棄物の処理及び清掃に関		開始年度	H18	実施方法		委託		
2007(117)(政策 1 環境にやさしいまちづくり	する法律	期間	終了年度	-	事業分類	施設維持	管理事業		
	施策 1 ごみの発生抑制と資源の有効活用									
2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 ・みかもクリーンセンターごみ焼却処理施設において、可燃ごみの焼却により発生する、ばいじん、焼却不燃残渣を、環境に負荷を与えない適切な処理・処分を行う 事業概要										
(2)目的	ことができる事業者に委託する。 	(3)目標値								
(2) 🗗	,	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7		
目的		ばいじん不燃残渣の発生量	t t	1,320	1,310	1,300	1,290	1,280		
(本事業に	・ごみ焼却処理施設から排出されるばいじん、焼却不燃残渣を適				,		,	,		
よって成し 遂げたい	切な処理・処分を行う。									
状態)										
(1)活動 活動実績 (R5年度に 行った主な活動内容)	度の実績(活動及び費用対効果)説明 助実績 ・4月 最終処分事業者と業務契約を締結 ・4月~3月 ばいじん及び焼却不燃残渣の適切な委託処理 ・9月 最終処分場の現地確認 ・2月 最終処分場のある自治体(福島県小野町、青森県三戸町)と次年度に向けた事前協議	(2)活動を説明する数値デ活動指標 可燃ごみ焼却量 事業費計 一般財源 特定財源(国・県・他) (うち受益者負担)	単位 t 千円	R3 24,482 39,707 39,707 0	R4 25,090 41,085	41,155				
(3)活動	かによる効果	(4)事業効果を説明する数	な値デー	タの推移			↓選択して	下さい		
		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較		
効果説明		ばいじん不燃残渣の発生量	t	1,356	1,374	1,192	値が小さいほど良い	効果が上がった		
(定量及び	 ・令和4年度と比較してばいじん等の発生量が減っている。									
定性)										
				-						
				<u> </u>			<u> </u>			
(5)費月	用対効果結果(自動判定)	-								
費用(R5	とR4の一般財源増減) 費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果				
効果	効果が上がった指標数	_		井田(ナエゼ・ナ	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった			
(R5とR4の	効果は変わらない指標数 0指標 効果が下がった指標数 0指標	-	費	費用は下がった						
指標值増減)	指標全体 効果が上がった]	用	費用が増加した	0					
(1) 令和・エネルギー	4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 ・エネルギー価格が高騰していることや環境への意識の高まりから、処理費用が上昇する可能性がある。 ・今後の課題として、リサイクルの推進、持続可能な廃棄物管理システムを構築していく必要がある。									
ノマの本	☆~○ (、フノーフル・ソコエペ)」はいるが未初日注ノヘノムで開来	○ C								

取組説明

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名みかもクリーンセンター維持管理事業実施計画事業or一般事業一般事業市長公約該当なし総合戦略該当なし施策横断的な取組との関連性SDGs該当ありコンパクトシティ該当なしスマートシティ該当なし1. 基本情報

		部	市民生活部		予算中事業名		会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
担当組織		課	環境政策課		みかもクリーンセンター維持管	予算	款	4	新規or継続	継続事業
		係	施設係		理事業	科目	項	2	市単独or国県補助	市単独事業
		体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的事業
	政策体系	基本目標	6	美しい自然、環境と調和するまちづくり	廃棄物の処理及び清掃に関		開始年度	H18	実施方法	一部委託
以來作术		政策	1	環境にやさしいまちづくり	する法律	期間	終了年度	ı	事業分類	施設維持管理事業
		施策	1	ごみの発生抑制と資源の有効活用)		-		-	•

2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値

(1) 事業概要

事業概要

|・みかもクリーンセンターの保守管理、委託、修繕等を行い、みかもクリーンセンターの適正な運営管理を行う。

(2)目的 (3)目標値

目的 (本事業に よって成し 遂げたい 状態)

・搬入された廃棄物を適切に処理し、環境保全と公衆衛生を維持すること。

・資源の回収とリサイクルを促進すること。

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
施設稼働率	%	100	100	100		
大規模な故障発生数	件	0	0	0		

3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明

(1)活動実績

(2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

		, ,				
		活動指標	単位	R3	R4	R5
	・施設で使用する消耗品、光熱水費、通信運搬費等の支払い	ごみ搬入量	t	26,003	25,982	25,199
活動実績 (R5年度に	・施設修繕(アルミ選別機修繕他17件)					
	この可里ノスノム体寸女心未効の大池					
・ 行った主な活 動内容)	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事業費計	千円	90,716	96,077	94,853
3 /17 11 12 /	・生活環境影響補足調査業務の実施	一般財源	千円	57,798	55,851	56,682
	・資源化物の処理	特定財源(国·県·他)	千円	32,918	40,226	38,171
		(うち受益者負担)	千円	780	623	734

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

		効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
** = ** **		施設稼働率	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
効果説明	・市民からの受け入れを止めることなく施設を稼働することができた。	大規模な故障発生数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
(定量及び 定性)	・中氏が少り文が入れて正めることは、他設を稼働することができた。							
ÆII.)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

費用(R5	とR4の一般財源増減)	費用が増加した
効果	効果が上がった指標数	0指標
	効果は変わらない指標数	2指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果は変わらない

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し			
用	費用が増加した		0	

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

・全国的にリチウムイオンバッテリーによる火災が発生していることから、安全な施設運営のため火災予防対策について検討する必要がある。

(2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

事業の在り方検討	(廃止 休止	再編成	受益者負担の目直に	など)

☑ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

□ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

取組説明

・火災発生の原因となるバッテリーの除去について、先進地の事例等の調査研究を行う。

事業名	みかもクリーンセンター破砕屑処理委託事業	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ		スマートシティ	該当なし
. 基本								
\1/4 = 4+\	市民生活部	予算中事業名		会計		事業計画	単年度	
当組織	課 環境政策課 係 施設係	みかもクリーンセンター破砕屑	予算	款		新規or継続		事業 虫事業
	係 施設係 本系コード 611 名称	処理委託事業 根拠法令、条例等	科目	<u>項</u> 目	_	市単独or国県補助 義務or任意		出争来 内事業
	基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり	似地石下木門寺	事業	開始年度		実施方法		リチ <u>ネー</u> 委託
策体系	政策 1 環境にやさしいまちづくり	廃棄物の処理及び清掃に関		終了年度	-		施設維持	
	施策 1 ごみの発生抑制と資源の有効活用	する法律	7 731-3	小() 十/ <u>(</u>		于未力及	//CDX/IEJV	ロエチタ
. 事業 相 1) 事業				.125 745-4	- TIML 1- 6	· **	· · · · · · · · · · · · · · · · · · · 	
業概要	・みかもクリーンセンターリサイクル施設において、不燃ごみ処理により を行うことができる事業者に委託する。	発生する破砕屑及ひ、再負源化	ごできな(ハヒン残済を	た、環境に関	付を与える	い適切な処	処理・処ク
2) 目的	约	(3)目標値						
		効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 事業に		破砕屑の発生量	t	184	165	162		
(本事業に よって成し 遂げたい 状態)	・破砕屑等を適切に処分する。							
状態)								
前年 月 1)活動	きの実績(活動及び費用対効果)説明 動実績 	(2)活動を説明する数値デ活動指標	ータ及び 単位	が事業費のi R3	推移 R4	R5		
	4 D	不燃ごみの量	t	738	677	664		
動実績 5年度に	・4月 最終処分事業者と委託契約を締結 ・4月~3月 破砕屑及びビン残渣の適切な委託処理 ・9月 最終処分場の現地確認							
た主な活	・1月 最終処分物の溶出試験 ・2月 最終処分場のある自治体(山形県米沢市)と事前協議	事業費計	千円	6,506	5,878	6,010		
内容)	・四半期ごとに米沢市に最終処分量の報告及び環境保全協力金	一般財源	千円	6,506	5,302	5,877		
	の支払い	特定財源(国·県·他)	千円	0	576	133		
		(うち受益者負担)	千円					
0) 注:	L Sh/- トスが田	(4)事業効果を説明する数	/古二	力小性移		I	1 255 + 🗆 1 - 7	~T+1\
3 / /DB	動による効果 	効果指標	単位	R3	R4	R5	→ 選択して 指標の性質	
		破砕屑の発生量	t	184	165		値が小さいほど良い	
果説明	 ・破砕屑の発生量は年々減少傾向である。							
定量及び 定性)	・1収件用の光土重は牛々/成少1収円である。 							
/								
				<u> </u>		<u> </u>		
	用対効果結果(自動判定)	_						,
用(R5	とR4の一般財源増減) 費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上がった指標数 1指標 効果は変わらない指標数 0指標	-	神	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
5とR4の 票値増減)	効果が下がった指標数 0指標		費 用	費用の増減無し				
:1四十日/1八)	指標全体 効果が上がった		Ж	費用が増加した	0]
	宴に向けた検討							

取組説明

(2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名 リサイクルプラザプラント運転制御システム更新事業 -般事業 市長公約 該当なし 総合戦略 実施計画事業or一般事業 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当あり コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 市民生活部 一般 事業計画 期間限定複数年度 部 予算中事業名 会計 担当組織 課 環境政策課 リサイクルプラザプラント運転制 予算 款 4 新規or継続 新規事業 施設係 科目 項 2 市単独の国界補助 市単独事業 係 御システム更新事業 名称 根拠法令、条例等 1 義務or任意 任意的事業 体系コード 611 目 一部委託 基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり 事業 開始年度 R5 実施方法 政策体系 廃棄物の処理及び清掃に関 期間終了年度 1 環境にやさしいまちづくり R6 事業分類 施設維持管理事業 政策 する法律 施策 1 ごみの発生抑制と資源の有効活用 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 事業概要 ・みかもクリーンセンターリサイクル施設の燃えないごみライン、粗大ごみライン、ビン類ライン、ペットボトルライン、カン類ラインの運転を制御するシステムの更新を行う。 (2)目的 (3)目標値 効果指標 単位 R3 R4 R5 R7 **R6** 日的 システム故障によるラインの長期停止 0 0 (本事業に ・運転制御システムの更新を行うことで、分別収集されたごみから大 よって成し 切な資源を安全に安定して選別、回収できるようにする。 遂げたい 状態) 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 活動指標 単位 R5 R4 契約件名: リサイクルプラザプラント運転制御システム更新業務委 受託業者との打ち合わせ回数 3 託 受託業者:新明和工業(株) 活動実績 契約日:令和5年7月27日 (R5年度に 履行期間:令和5年7月27日から令和7年3月17日 行った主な活 0 事業費計 0 0 千円 動内容) (2か年事業) 一般財源 千円 契約金額:37,950,000円 業務内容:運転制御システムのハードウェア、ソフトウェアの更新 千円 特定財源(国・県・他) (うち受益者負担) 千円 (3)活動による効果 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 し選択して下さい 指標の性質 R4とR5の比較 R4 R5 効果指標 単位 R3 システム故障によるラインの長期停止 値が小さいほど良い 効果は変わらない 効果説明 ・システムの更新は令和6年度となるため、今夏が出るのはその後で (定量及び ある。 定性) (5) 費用対効果結果(自動判定) 費用(R5とR4の一般財源増減) 効果 ※10万円以上の増減により判断 効果が上がった指標数 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がつ 0指標 効果 効果は変わらない指標数 費用は下がった 費 (R5とR4の 効果が下がった指標数 費用の増減無 指標值増減) 用 指標全体 果は変わらない 費用が増加した 4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 ・システム入れ替えに伴うライン停止期間について最小限にとどめられるよう受託業者と協議を行う。 (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組 取組説明

事業費の見直し検討 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

事業効果を上げるための事務改善の検討

П

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

717 —	リサイクノ	レプラザ維	持管理事業	実施計画事業or一般事業	— _ј	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当な
				施策横断的な取組との関連性					スマートシティ	
. 基本情										
	部	市民生活部		予算中事業名		会計		事業計画		繰り返し
<u> </u>	課	環境政策課 施設係		リサイクルプラザ維持管理事業	予算	款		新規or継続		事業
	係 体系コード	旭政 統 611	名称	根拠法令、条例等	科目	<u>項</u> 目	2 1	市単独or国県補助 義務or任意		虫事業 内事業
	基本目標	1	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業	開始年度		実施方法		委託
策体糸 ⊦	政策		環境にやさいいまちづくり	- 廃棄物の処理及び清掃に関		終了年度		事業分類		
-	施策		ごみの発生抑制と資源の有効活用	する法律		11/2		3 2/03700	2012413	
1)事業	農概要		画期間内)目標値	⋒⋰ ⋰						
業概要	・リサイクル。	ノフザの適止な	¢維持管理を行い、市民が行う3R活動の扱	心点施設としての機能を維持する)					
2)目的	<u> </u>			(3)目標値						
	16-5		- 1.6#1±667m±7=================================	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 		率的、効果的 £命化を図る。	は維持管理を行うことにより、建物や付属	修繕回数	件	6	3	4		
って成し			できるよう施設環境を保ち、事務執行に支							
をがたい 状態)	障のないよ		(このの))地域水光と休り、予切が行うに文							
177.657										
前年度 1)活動		活動及び費用	月対効果)説明 	(2)活動を説明する数値デ活動指標	タ及で 単位	が事業費の R3	推移 R4	R5		
				利用者数(年間)	人	695	1,310	1,624		
	・施設内で	使用する消耗	品類の購入				,	, -		
動実績	・舗装修繕	、衛生施設値	多繕							
	•清掃業務									
た主な活 内容)	- NID>(3)	·安託 -保守点検第	坐 孜禾詳	事業費計	千円	5,131	5,371	5,728		
, ,			377.55 元 R守点検業務委託	一般財源	千円	1		545		
	, , , , , , ,	202/2001		特定財源(国·県·他)	千円	5,130	5,371	5,183		
				(うち受益者負担)	千円	,	,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
				(万)文皿百只旦)	111					
3) 注制	かによる効果 「			(4)事業効果を説明する数			5.4	l 55	↓選択して	
ノノウツ				効果指標 修繕回数	単位件	R3 6	R4 3	R5	指標の性質 値が小さいほど良い	
ノ / 心勢					1T	0		7	EDJ-J-CO-IACIXO	<i>MJ</i>
果説明	・適切な維	適切な維持管理ができたことで、3R啓発の場、市民の行う3R活		沙哈巴奴						
果説明		持管理ができ て維持すること		194音巴女						
果説明 温及び				110年11日女人						
果説明				19/16日文						
果説明 管量及び 定性)	動の場として		ができた。	1100年11日文						
果説明 量及び 定性) 5)費用 用(R5	動の場として 用対効果結り とR4の一般	て維持すること 果(自動判定 財源増減)	ができた。 E) 費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
果説明 2量及び 定性) 5)費用 用(R5&	動の場として	て維持すること 果(自動判定 財源増減) でた指標数	ができた。 E) 費用が増加した O指標		弗	費用は下がった	効果が上がった		効果が下がった	
果説明 量及び 定性) 5)費用 R (R5& 効果 5とR4の	動の場として 用対効果結果 とR4の一般 効果が上が 効果は変わ	て維持すること 果(自動判定 財源増減) うた指標数 らない指標数 うない指標数	だできた。 費用が増加した 0指標 0指標 1指標		費用	費用は下がった費用の増減無し	効果が上がった		効果が下がった	
R説明 量及び を性) (5) 費用 (R5d か果 	動の場として 用対効果結果 とR4の一般 効果が上が 効果は変わ	て維持すること 果(自動判定 財源増減) でた指標数 らない指標数	ができた。 費用が増加した 0指標 0 指標		費用		効果が上がった		効果が下がった	
果説明 定量及び 定性) 5)費用 (R5d 効果 5とR4の 終値増減) 次年度 1)令和	動の場として 用対効果結 とR4の一般 効果が上が 効果が下が 対果は変わ 効果が下が をに向けた検 こ5年度の	て維持すること 果(自動判定 財源増減) うたお標数 らない指標数 うた指標数 一指標を体 計算 事業実施にお	だできた。 費用が増加した 0指標 0指標 1指標	※10万円以上の増減により判断	用	費用の増減無し費用が増加した			効果が下がった	
果説明 (量及び (主性) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を	動の場として 財対効果結果 をR4の一般 効果が上が 効果が下が をに向けた検 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	果(自動判定 関が原増減) でた指標数 でた指標数 がた指標数 がた指標数 指標全体 を討 事業実施にお	度) 費用が増加した の指標 の指標 1指標 対果が下がった ける反省点、環境変化や関係者からの意見 機械設備等の修繕を順次更新していく必要	※10万円以上の増減により判断	用	費用の増減無し費用が増加した			効果が下がった	
果説明 量及び 言性)	動の場として 財対効果結果 をR4の一般 効果が上が 効果が下が をに向けた検 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	果(自動判定 関が原増減) でた指標数 でた指標数 がた指標数 がた指標数 指標全体 を討 事業実施にお	だできた。 費用が増加した 0指標 0指標 1指標 効果が下がった ける反省点、環境変化や関係者からの意見	※10万円以上の増減により判断	用	費用の増減無し費用が増加した			効果が下がった	

□ 事業の在り方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

□ 事業費の見直し検討

仕事	の振り)返りシ	ノート(令和5年度	実施分)			作	成・更新日	令和6年	7月27日
事業名	リサイクノ	レプラザ防	水改修事業	実施計画事業or一般事業	— <u></u>	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	部	市民生活部		予算中事業名		会計		事業計画	単年!	<u> </u>
担当組織	課	環境政策課			予算	款		新規or継続		事業 -
	係	施設係		リサイクルプラザ防水改修事業	科目	項	2	市単独or国県補助		虫事業
	体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目		義務or任意		り事業
政策体系	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり	廃棄物の処理及び清掃に関		開始年度 終了年度		実施方法	施設維持	委託
	政策 施策		環境にやさしいまちづくり ごみの発生抑制と資源の有効活用	する法律	7010	於」牛皮	KS	事業分類	沙巴 克尔胜1寸	日任尹未
2. 事業 机 (1)事業	業概要		画期間内)目標値 サイクルプラザの防水工事を実施する。							
(2)目的	<u> </u> ሳ			(3)目標値						
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
日的 (本事業に	 ・経年少ル	により発生! †	この漏りを防止することで、建物を適切な	雨漏りが起因する機械設備の故障	件			0		
よって成し	状態に保つ		こうがはし こうしょう のここ こ、注がらに回るしな							
遂げたい 状態)										
3.前年 原 (1)活動		舌動及び費用	引対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の	隹移		1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
	丁重夕・2	なか <i>も、</i> カリート, ナ	2ンターリサイクルプラザ屋上防水工事	業者等との打ち合わせ回数				5		
活動実績 (R5年度に	請負業者:契約日:令	: (有)岩﨑工 合和5年8月2	務店 日							
、 テった主な活		115年8月21日 頃:6,138,0	ヨから令和5年11月18日 იი円	事業費計	千円	0	0	6,138		
動内容)			量上、プラットホーム屋上、4階南側外壁、	一般財源	千円					
	4階屋上、	破砕機室屋」	上の補修工事		千円			6,138		
				(うち受益者負担)	千円			0,130		
				(プラ文価有其担)	TI					
(3)活動	動による効果 T	:		(4) 事業効果を説明する数					↓選択して	
				効果指標 効果指標 の故障	単位件	R3	R4	R5 0	指標の性質 値が小さいほど良い	R4とR5の比較 効果は変わらない
効果説明	防水工事	を実施したこと	で雨漏りがなくなり、建物を適切な状態に	TITUTE ON ACE OF STATE OF ST	- 11			3		2.5500
(定量及び 定性)	保てるように	なった。								
ĺ										
, .		_ ,				<u> </u>				
	用対効果結り とR4の一般	果(自動判定	E)	※10万田以上の梅津によりがで				効果		Ī
			0指標	※10万円以上の増減により判断			効果が上がった		効果が下がった	
劝未		らない指標数	1指標 0指標		費	費用は下がった				
指標値増減)	XIJ*(I), L, []	指標全体	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	j	用	費用の増減無し				
(1) 令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 のため、近い将来屋上全体の防水工事を3		対効果[句上のための)課題			
(2)上言	記反省点及で	び課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組		1					
				取組説明						

・令和5年度単年度事業のため

111										
事業名	ごみステ	ーション看	扳作成事業 	実施計画事業or一般事業	— <u>;</u>	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情	部	市民生活部		予算中事業名		会計		事業計画	単年度	組り近し
担当組織	課	環境政策課			予算	款		新規or継続	継続	
3	係	廃棄物対策		- ごみステーション看板作成事業	科目	項	2	市単独or国県補助		虫事業
	体系コード	611	名称	根拠法令、条例等		目	2	義務or任意	任意的	り事業
政策体系	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり	 - 佐野市ごみステーション設置		開始年度	_	実施方法	_	営
	政策 施策		環境にやさしいまちづくり ごみの発生抑制と資源の有効活用	基準及び管理要領	期間	終了年度		事業分類	その他市民は	こ対する事業
	心來	1	このの先生抑制と負ៃの行効心用							
2. 事業 概 (1)事第		ひび(基本計	画期間内)目標値							
事業概要	ごみステーシ	ションに関するネ	看板作成経費							
(2)目的	<mark>ሳ</mark>			(3)目標値						
	-			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
目的 (本事業に				設置許可数/設置申請届出数	%	100	100	100	100	100
よって成し	市民にごみ	を適正に排出	してもらう。				 			
遂げたい 状態)										
·Mar)										
3. 前年 原(1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の持	推移			
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
活動実績	「炒出フブコ	の手にた.4	○ + ケ「次/万 炒ニ+ソンデュ・左/字/デューの	燃えるごみのステーション数	箇所	2,902	2,933	2,961		
	「燃えるごみ」の看板を40枚、「資源・燃えないごみ・有害ごみ」の 看板を50枚、「資源ごみ持ち去り防止」の看板を10枚作成し			資源・不燃ごみのステーション数	箇所	1,420	-	-	1	
		パス・「良心に		設置等届出数	件	80	80			
(R5年度に 行った主な活	老朽化した	看板の交換や	*新規ステーションへの設置に対し、必要に						1	
動内容)			ごみ・燃えないごみ・有害ごみ」ステーション	事業費計	千円	214	199		ļ	
	看板及ひ 1 た。	資源こみ持ち	去り防止」の看板を合計61枚配布し	一般財源	千円	214	199	432		
	100			特定財源(国・県・他)	千円					
				(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	めによる効果			(4)事業効果を説明する数	(値デー	タの推移			↓選択して	下さい
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
効果説明				設置許可数/設置申請届出数	%	100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わらない
(定量及び		出のあった人ナ・ に設置を許可	ーションについて、安全に収集できるかを確				 			
定性)		に政臣で計り	C ('3 .							
(5)費用	ー 月対効果結果	果(自動判定	 E)							
	とR4の一般	財源増減)	費用が増加した	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が	うた指標数 らない指標数			:110	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 指標値増減)		った指標数	0指標		費用	費用の増減無し				
旧·乐[[2]] [1]		指標全体	効果は変わらない	l	713	費用が増加した	<u></u>			İ
(1) 令和		事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 ・看板を作成し、必要なステーションに配布で		対効果[句上のための)課題			
(2) 上訓	己反省点及で	び課題を踏ま	えた、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明						
	事業効果を 事業費の見	と上げるための 見直し検討	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討							
	業務時間效	効率化のための	の事務改善の検討							

11111										
事業名	ごみ収集	・運搬事業	<u> </u>	実施計画事業or一般事業	—f	投事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
				施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当なし
1. 基本情		十口牛汀如		7/5-1- 		A = 1	4 0.	±#=1-	出左床	(PIN)EI
担当組織	部 課	市民生活部環境政策課		予算中事業名	予算	会計款		事業計画 新規or継続	単年度組織	
723711111111111111111111111111111111111	踩 係	廃棄物対策	经	ごみ収集・運搬事業		項		市単独or国県補助		中未 上
	体系コード	611	名称	根拠法令、条例等	11111	目		義務or任意	任意的	
	基本目標		美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業	開始年度		実施方法	一部	
政策体系	政策		環境にやさしいまちづくり	- 廃棄物の処理及び清掃に関	期間	終了年度	_	事業分類	その他市民は	こ対する事業
	施策	1	ごみの発生抑制と資源の有効活用	する法律						
2. 事業 概 (1)事業 事業概要	美概要	砂(基本計	画期間内)目標値							
(2)目的	9			(3)目標値	111 /T	5.0	D.4	DE	5.0	57
目的				効果指標 ごみステーションでの回収できないゴミ重量	単位	R3 0	R4 0	R5 0	R6 0	R7
(本事業に	家庭ごみを	分別していたた	ぎ、ゴミステーションに排出される一般廃	この人ナーンヨンでの回収できない」に里重	t	U	U	U	U	0
よって成し		に収集運搬す								
遂げたい 状態)	21113 4744									
17(18)										
		舌動及び費用	対効果)説明							
(1)活重	加実績			(2)活動を説明する数値デ T			佳移		1	
				活動指標	単位	R3	R4	R5		
				ごみ総排出量 (一般廃棄物)	t	37,332	37,221	36,033		
	佐野市全域	或(佐野・田沼	留·葛生地区)の家庭から排出される燃え	 収集作業日数(一斉清掃含)	В	301	304	302		
活動実績			えないごみ、有害ごみの収集を業務委託	ごみ収集委託料	千円	138,671	138,671	138,671	1	
(R 5 年度に に たった これば	により実施し	た。						•	•	
行った主な活動内容)	現在の業務	秀託契約は、	令和3年度から令和7年度までの5年	事業費計	千円	143,354	143,037	143,296	ļ	
	間である。			一般財源	千円	143,023	142,794	142,592		
				特定財源(国·県·他)	千円	331	243	704		
				(うち受益者負担)	千円				1	
				(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					1	
(3)活動	かによる効果			(4)事業効果を説明する数			D.4	5.5	↓選択して	
				効果指標 ごみステーションでの回収できないゴミ重量	単位 t	R3 0	R4 0	R5	指標の性質 値が小さいほど良い	R4とR5の比較 効果は変わらない
効果説明				この人ナーションでの回収できないコミ里里	ι	U	U		他がいさいほと良い	対末は支わりない
(定量及び	家庭からごる	みステーションに	こ排出されるごみは全て収集している。							
定性)										
(5) 費用	 日対効里結	果(自動判定								
	とR4の一般		費用は下がった	※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が		0指標				効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
パノス (R5とR4の	効果は変わめ	らない指標数 にた指標数	1指標 		費	費用は下がった		0		
指標值増減)	<i>X</i> 13 <i>X</i> 13 1 13	指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した				
(1)令和		事業実施におり	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 「搬業務の実施。	見等を踏まえた検討課題、費用	対効果同	句上のための)課題			
(2) 上記	尼反省点及び	び課題を踏まえ	た、令和6年度及び令和7年度の取組	取組説明]					
	事業効果を 事業費の見 業務時間效	上げるための! 見直し検討 効率化のための	、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) 事務改善の検討)事務改善の検討 犬維持又は現状の計画通り)	-1A112400-73	I					

仕事の振り返りシート(令和5年度実施分)

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業費の見直し検討

П

 作成・更新日 令和6年8月2日

事業名でみ搬入届出証交付事業 -船事業 該当なし 総合戦略 実施計画事業or一般事業 市長公約 該当なし 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 市民生活部 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 一般 事業計画 担当組織 課 環境政策課 予算 款 4 新規or継続 継続事業 ごみ搬入届出証交付事業 クリーン推進係 科目 項 2 市単独or国県補助 市単独事業 係 根拠法令、条例等 2 任意的事業 体系コード 名称 義務or任意 611 目 基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり 開始年度 平成17年度 実施方法 直堂 政策体系 廃棄物の処理及び清掃に関 事業分類 その他市民に対する事業 終了年度 政策 1 環境にやさしいまちづくり する法律 施策 ごみの発生抑制と資源の有効活用 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 みかもクリーンセンター・葛生清掃センターにごみを搬入する人にごみ搬入届出証を交付する事務 事業概要 (2)目的 (3)目標値 みかもクリーンセンター、葛生清掃センターにごみを搬入する市民、 単位 R3 R4 R5 R6 R7 効果指標 日的 事業者が、ごみの適切な搬入方法を理解している。 市民(家庭用、減免)持込量(みかも) t (本事業に また、市はいつ、どんなごみが、どれくらい搬入されたか 事業所持込量(みかも) t よって成し という状況が把握できている。 遂げたい ※搬入届出証の交付事務のみによるごみ減量化の効果目標値設 状態) 定は適切ではない。 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移 単位 活動指標 R4 R5 持込件数(みかも) 件 44,016 44,004 43,310 届出証発行件数(みかも) 件 2,196 2,106 2,118 ·搬入届出受付件数 合計2,118件 活動実績 (内訳:事業所用77件、家庭用 2,024件、減免17件) (R5年度に ・みかもクリーンセンターにおいて、搬入届出証受付時の聞き取りによ 行った主な活 事業費計 千円 25 45 30 り搬入届出証の交付、ごみの分け方・出し方の指導、施設で処理 動内容) できないごみの処理方法の説明や搬入指導を行った。 千円 30 一般財源 25 45 特定財源(国・県・他) 千円 千円 (うち受益者負担) (4) 事業効果を説明する数値データの推移 (3)活動による効果 ↓選択して下さい 単位 R3 R4 R5 指標の性質 R4とR5の比較 効果指標 1,494 値が小さいほど良い 効果が上がった 市民 (家庭用、減免) 持込量 (みかち) 1,509 1.572 効果説明 搬入届出証交付時に伴いごみの減量化や分別などの指導ができ 事業所持込量(みかも) 716.0 649.0 値が小さいほど良い 効果が上がった 653.0 (定量及び ている。 定性) (5)費用対効果結果(自動判定) 費用(R5とR4の一般財源増減) 費用の増減無し 効果 ※10万円以上の増減により判断 2指標 効果が上がった指標数 効果が上がった 効果は変わらない 効果が下がった 効果 効果は変わらない指標数 0指標 費用は下がった 費 (R5とR4の 効果が下がった指標数 費用の増減無 指標値増減) 用 指標全体 効果が上がった 4. 次年度に向けた検討 (1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 ごみ搬入届出証の適切な交付とごみ搬入に関する指導 (2) 上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組 取組説明

ごみ搬入届出証の適切な交付とごみ搬入に関する指導

□ 事業の在り方検討 (廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

- X-1	ふれあい	収集事業		実施計画事業or一般事業	-t		市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
	13.4000	<u> </u>		施策横断的な取組との関連性		,			スマートシティ	該当なし
. 基本情										
	部	市民生活部		予算中事業名	~ ~	会計		事業計画	単年度	
	課 係	環境政策課 廃棄物対策		ふれあい収集事業	予算 科目	<u>款</u> 項	2	新規or継続 市単独or国県補助	継続	事業 中事業
	体系コード	無果物対象 611	名称	根拠法令、条例等	竹出	目		義務or任意		当事来 り事業
	基本目標	_	美しい自然、環境と調和するまちづくり		事業	開始年度	_	実施方法	直	
 放策体系	政策		環境にやさしいまちづくり	佐野市ふれあい収集実施要 綱		終了年度	_	事業分類	その他市民は	対する事績
		l .	ごみの発生抑制と資源の有効活用 画期間内) 目標値	गरण						
事業概要		所定のごみス: 生活を支援す	テーションまで持ち出すことが困難な高齢者 「る。	又は障がい者等の単身世帯に対	対し、個別	別に訪問し	家庭ごみの	収集を行う	ことに併せ、	安否確
(2)目的	<u> </u>			(3)目標値		T		T		
目的				効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
日的 (本事業に	家庭ごみを	ごみステーショ	ンに持ち出すことが困難な高齢者や障がい	ふれあい収集の収集重量	t	43	55	55	55	5
		ごみ排出にか	かる負担を軽減すると共に、日常生活を支							
遂げたい 状態)	援する。									
יואפי)										
. 前年度 (1)活動		舌動及び費用	3対効果)説明	(2)活動を説明する数値デ活動指標	ータ及び 単位	ド事業費の R3	推移 R4	R5		
				—————————————————————————————————————	世帯	52	75	69		
	ふれあい収	集申請を受付	し、申請者の審査を行い、利用者への決							
5動実績	定通知書を	発送した。(発送件数77件)	利用世帯(当該+過年度)	世帯	191	231	235		
			家庭ごみ(可燃・不燃・有害)を回収す						į	
		否の確認をし		事業費計	千円	557	379	405		
±)/r 31 -1 /	体圧者の球 もらった。	北沈を唯認し、	必要に応じて変更届(中止)を提出して	一般財源	千円	557	379	405		
	ひりりに。				千円					
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
				(うち受益者負担)	千円					
(3) 活重	かによる効果			(4) 事業効果を説明する数		タの推移			↓選択して	
				効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	
加果説明	、 ふわあい以▽:	生利田世帯	数は増加傾向にあり、それに伴い収集重量	ふれあい収集の収集重量	t	50	57	60	値が大きいほど良い	効果が上がっ
定量及び	も増加してい		人に 一川 マーバ 木里主							
定性)										
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定	₹)							
	とR4の一般		費用の増減無し	※10万円以上の増減により判断				効果		,
₹HI (KS	効果が上が		1指標	1		######################################	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	•
	効果は変わ	らない指標数 らた指標数	0指標 0指標	-	費	費用は下がった	0			
効果 R5とR4の	効果が下が	指標全体	効果が上がった]	用	費用が増加した				
効果 R5とR4の	効果が下か									
効果 R5とR4の 標値増減) . 次年 度 1) 令和	度に向けた検 □5年度の	討 事業実施にお	ける反省点、環境変化や関係者からの意見 めての確実な収集業務の実施。	見等を踏まえた検討課題、費用な	対効果[句上のための	D課題			
効果 R5&R4の i標値増減) . 次年 原 (1) 令和 直正な分別	度に向けた核 ① 5 年度の『 別指導及び安	意 討 事業実施にお で否確認を含		見等を踏まえた検討課題、費用対	対効果[句上のための	D課題			

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

事業名	佐野市安全	È運転事業所連絡協議会参画事業(環境政策課)	実施計画事業or一般事業	—,	般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
			施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当なし			スマートシティ	該当なし
. 基本									
11176□6 0 0	部	市民生活部	予算中事業名	~ ~	会計		事業計画	単年度	
!当組織	課 係	環境政策課 廃棄物対策係	佐野市安全運転事業所連絡協議 会参画事業(環境政策課)		款 項	2	新規or継続 市単独or国県補助	継続市単独	
	体系コード	611 名称	根拠法令、条例等	171	日		義務or任意	任意的	
トゲルブ	基本目標	6 美しい自然、環境と調和するまちづくり	道路交通法第74条の3	事業	開始年度	H19	実施方法		
対策体系	政策	1 環境にやさしいまちづくり	道路交通法施行規則第9条	期間	終了年度	_	事業分類	参画	事業
	施策	1 ごみの発生抑制と資源の有効活用	Ø8						
· 争果((1)事章 (業概要	業概要	とび(基本計画期間内)目標値 - ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	内の安全運転管理者を擁するで	用体として	で参画する。				
-	100 1000								
(2)目的	的		(3)目標値	1144		_ :			
目的			効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
本事業に		管理者に対する知識の習得や県内の交通事故等の最 -	参画で新たな知識を得られた対象職員割合 参画が有意義であると回答した職員の割合	% %	100.0	100.0	100.0	100.0	10 100.0
よって成し	新情報を得		シ上の方心がでのるこれもののの	70	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
遂げたい 状態)	官埋トの通	『転手への安全教育を行い、安全の徹底を図る。							
•									
前年	きの宝結(シ	舌動及び費用対効果)説明							
· 的牛(〔1〕活動		D到汉U 复用对别未) 机构	(2)活動を説明する数値デ	ータ及び	が事業費の持	隹移			
<u> </u>			活動指標	単位	R3	R4	R5		
					1	1	1		
	(市の活動	h)	两目公山/川口 <u>处</u>	I					
動実績	佐野市安全	全運転事業所連絡協議会に負担金の支出、総会、安							
R5年度に		理者等講習会への出席。						į	
った主な活 動内容)		安全運転事業所連絡協議会の活動)	事業費計	千円	10	10	10		
±01 1	理品総会、全運動への	研修会、道路標識等清掃、街頭啓発、各種交通安場	一般財源	千円	10	10	10		
	工压到,心	'일 때 o	特定財源(国·県·他)	千円					
			(うち受益者負担)	千円					
(3)活動	動による効果 T		(4)事業効果を説明する数					↓選択して	
			効果指標 参画で新たな知識を得られた対象職員割合	単位 %	R3 100	R4 100	R5 100	指標の性質	R4とR5の比
力果説明	() = 1 to -		参画が有意義であると回答した職員の割合	%	100.0	100.0	100.0		
定量及び 定性)	参画により新	所たな知識が得られている。	·	,,,	100.0	100.0	100.0		
ÆIL)									
(5)費用	用対効果結果	果(自動判定)	_						
費用(R5	とR4の一般		※10万円以上の増減により判断				効果		
効果	効果が上が効果は変わ	うた指標数 <u>0指標</u> らない指標数 <u>0指標</u>	-	費	費用は下がった	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	
(R5とR4の 『標値増減)	効果が下が	うた指標数 <u>0指標</u>		用用	費用の増減無し		0		
January)		指標全体 効果は変わらない	.	,13	費用が増加した				
	度に向けた検 和 5 年度の	ます。 事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意	見等を踏まえた検討課題、費用な	対効果に	句上のための	課題			
野市安全	全運転事業院	所連絡協議会への参画を継続する。							
(2)上語	記反省点及で	が課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組		1					
	事業の左り	方検討(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)	取組説明						
		万快剤(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど) と上げるための事務改善の検討							

什事の振り返りシート(令和5年度実施分) 作成·更新日 令和6年8月2日 事業名 佐野市労働基準協会参画事業 (みかもクリーンセンター) 市長公約 該当なし 総合戦略 該当なし 実施計画事業or一般事業 一般事業 施策横断的な取組との関連性 SDGs 該当なし コンパクトシティ 該当なし スマートシティ 該当なし 1. 基本情報 市民生活部 単年度繰り返し 部 予算中事業名 会計 一般 事業計画 担当組織 課 環境政策課 予算 款 4 新規or継続 継続事業 **佐野市労働基準協会参画事業** クリーン推進係 (みかもクリーンセンター) 科目 項 2 市単独or国県補助 市単独事業 係 根拠法令、条例等 2 義務or任意 任意的事業 体系コード 名称 611 目 平成18年度 直営 基本目標 6 美しい自然、環境と調和するまちづくり 開始年度 実施方法 政策体系 労働安全衛生法第19条 終了年度 参画事業 政策 1 環境にやさしいまちづくり 事業分類 施策 1 ごみの発生抑制と資源の有効活用 2. 事業概要と目的及び(基本計画期間内)目標値 (1) 事業概要 事業概要 |労働条件の向上・確保のための改善、労働災害防止と職場環境の安全衛生対策の向上・改善等、職員の健康と安全を目的とする。 (2)目的 (3)目標値 単位 R3 R4 R5 R6 R7 効果指標 みかもクリーンセンターに勤務する職員の職場(施設)環境の保全 日的 会議への出席回数 並びに適正な維持により、管理負荷を与えない適切なごみの処理・ (本事業に 搬入ごみが適正に処理されなかった件数 件 処分を行う。 よって成し 遂げたい 状態) ※市が主体となって行う事業ではないため目標値の設定はない。 3. 前年度の実績(活動及び費用対効果)説明 (1)活動実績 (2)活動を説明する数値データ及び事業費の推移

(1)/11=/	32/15		////	于未只约	H 17	
	(市の活動)	活動指標	単位	R3	R4	R5
	佐野労働基準協会に負担金の支出。例年、総会及び産業安全	加入事業者数	事業所	437	439	440
	衛生大会に参加しているが、令和3年度と令和4年度は新型コロナ感染防止のため開催なし。令和5年度は全国安全週間準説明	会議等の出席数		0	0	2
加到大帜	スペストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリストリス					
行った主な活動内容)	掃センター安全衛生委員会の開催等を行った。 (佐野労働基準協会の活動) 例年、通常総会1回、労働管理セミナー1回、産業安全衛生	事業費計	千円	24	24	25
到(1)台)		一般財源	千円	24	24	25
	大会1回、労働安全週間1回を開催している。	特定財源(国·県·他)	千円			
		(うち受益者負担)	千円			

(3)活動による効果

(4) 事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

			効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
	-t cm = x nn		会議への出席回数	口	0	0	2	値が大きいほど良い	効果が上がった
	効果説明	職場環境における情報の共有が図られ、改善に繋がっている。	搬入ごみが適正に処理されなかった件数	件	0	0	0	値が小さいほど良い	効果は変わらない
'	(定量及び 定性)	戦物保免にのいる旧報の大行が囚りに 以告に来がしている。							
	X-11-)								

(5)費用対効果結果(自動判定)

買用(K5	とR4の一般財源増減)	費用の増減無し
効果	効果が上がった指標数	1指標
	効果は変わらない指標数	1指標
(R5とR4の	効果が下がった指標数	0指標
指標値増減)	指標全体	効果が上がった

※10万円以上の増減により判断

			効果	
		効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費	費用は下がった			
	費用の増減無し	0		
用	費用が増加した			

4. 次年度に向けた検討

(1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

当該団体の会議等への出席による職場環境の改善に係る情報収集や技術の取得

(2)	上記反省占及が課題を踏まえた	今和6年度及び今和7	7 年度の取組

	事業の在り方検討	(廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど)
--	----------	-------------------------

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 事業費の見直し検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討

☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

HUXH	=M D H
ロXがH	ᇌᄱ

当該団体の主催会議等への出席

□ 事業効果を上げるための事務改善の検討

□ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☑ 特に検討事項無し(現状維持又は現状の計画通り)

通常情報 一根民主語形	型当組織 位 位 を 位 を を を を を を を を を を を を を を を	部 課 系 本系コード 基本目標 政策 施策 要と目的及 概要	環境政策課 発棄物対策係 611 6 美 1 環 1 ごの び(基本計画類	い自然、環境と調和するまちづくり 竟にやさしいまちづくり xの発生抑制と資源の有効活用	予算中事業名 栃木県安全運転管理者協議会 参画事業(環境政策課) 根拠法令、条例等 道路交通法第74条の3 道路交通法施行規則第9条	予算 科目	会計 款 項 目 開始年度	コンパクトシティ 一般 4 2	該当なし 事業計画 新規or継続 市単独or国県補助	スマートシティ 単年度 継続 市単独	該当な 繰り返し 事業
一部では、	型当組織 位 位 位 を (1) 事業概 (1) 事業概要 (2) 目的 本事等に (2)	部 課 系 本系コード 基本目標 政策 施策 要と目的及 概要	環境政策課 発棄物対策係 611 6 美 1 環 1 ごの び(基本計画類	い自然、環境と調和するまちづくり 竟にやさしいまちづくり xの発生抑制と資源の有効活用	栃木県安全運転管理者協議会 参画事業(環境政策課) 根拠法令、条例等 道路交通法第74条の3 道路交通法施行規則第9条	科目 事業	款 項 目 開始年度	4 2 2	新規or継続 市単独or国県補助	継続市単独	事業
連載 東京政政庁	当組織 (在) (在) (在) (在) (在) (在) (在) (在) (在) (在)	課 深 体系コード 基本目標 政策 施策 要と目的及 概要	環境政策課 発棄物対策係 611 6 美 1 環 1 ごの び(基本計画類	い自然、環境と調和するまちづくり 竟にやさしいまちづくり xの発生抑制と資源の有効活用	栃木県安全運転管理者協議会 参画事業(環境政策課) 根拠法令、条例等 道路交通法第74条の3 道路交通法施行規則第9条	科目 事業	款 項 目 開始年度	4 2 2	新規or継続 市単独or国県補助	継続市単独	事業
様本元子 611 名称	#####################################	系 本系コード 基本目標 政策 を施策 要と目的及 概要	廃棄物対策係 611 6 美し 1 環 1 ごみ び(基本計画期 では、一定台数	い自然、環境と調和するまちづくり 竟にやさしいまちづくり xの発生抑制と資源の有効活用	参画事業(環境政策課) 根拠法令、条例等 道路交通法第74条の3 道路交通法施行規則第9条	科目 事業	項 目 開始年度	2	市単独or国県補助	市単独	
接続日本 1 名称 技術交換を、条件等 日 2 場所の計画 代表的主義 日 1 2 場所の計画 代表的主義 日 2 場所の注意 日 2 場所の主意 日 2 は 2	x策体系 事業概 1) 事業概要 2) 目的 目的 本事業に	本系コード 基本目標 政策 施策 要と目的及 ・ 概要	611 6 美(1 環 1 ごみ び (基本計画類 では、一定台数	い自然、環境と調和するまちづくり 竟にやさしいまちづくり xの発生抑制と資源の有効活用	根拠法令、条例等 道路交通法第74条の3 道路交通法施行規則第9条	事業	目 開始年度	2			 **
演体	(策体系 事 業概 1) 1) 業概要 2)目的 目的 本事業(こ	基本目標 政策 施策 要と目的及 概要	6 美l 1 環 1 ご び (基本計画集 では、一定台数	い自然、環境と調和するまちづくり 竟にやさしいまちづくり xの発生抑制と資源の有効活用	道路交通法第74条の3 道路交通法施行規則第9条		開始年度		義務or任意	ノイエニム	
政策	東体系 事業概 1) 事業 業概要 2) 目的 目的 本事業に	政策 施策 要と目的及 概要 道路交通法	1 環 1 <i>ご</i> の び (基本計画集 では、一定台数	竟にやさしいまちづくり →の発生抑制と資源の有効活用	道路交通法施行規則第9条						
選択	. 事業概: 1)事業 業概要 2)目的 目的 本事業に	施策 要と目的及 概要 道路交通法	1 ごむ び (基本計画 類 では、一定台数	かの発生抑制と資源の有効活用	_	期间					
事業概要と目的及び (基本計画期間内) 目標値	. 事業概: 1)事業/ 業概要 2)目的 目的 本事業(こ	要と目的及 概要 道路交通法	び (基本計画 類 では、一定台数		0,6		終了年度	_	事業分類	参曲	事業
対象	目的 本事業に					 要な業務	客を行わせる	ぶため、「安全	全運転管理	里者」を選任	<u></u> - Eし、公3
日前 中国	目的				(2) 日堙値						
	本事業に 3					単位	R3	R4	R5	R6	R7
# 学生に	4手来に	± ^ \====:	TM +v (- 1 1 : - :		7.00.1.00.00		_				
前情報を得る。 1 1 1 1 1 1 1 1 1	って成し 🖡			識の習得や県内の交通事故等の最							100
(市の活動)	2 (75,00			教育を行い 安全の物底を図る							
1) 活動実績 (2) 活動を説明する数値デーク及び事業費の推移 (2) 活動を説明する数値デーク及び事業費の推移 (市の活動) 栃木県安全運転管理者協議会に負担金の支出、安全運転管理 (栃木県安全運転管理者協議会の出席。 (栃木県安全運転管理者協議会の活動) 安全運転管理者等講習会、車両・道路清掃、通常総会、各種交 選安全運動かの参画、機関紙だらぎの安全運転管理」の発行、その他安全運転のための通年運動。 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 ファール (5) 安全運転では、1 中円 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22 22		日生トツ城県	マハツ女土理判	大月で1」い、女士の実践で凶る。							
(市の活動) (市の活動) (市の活動) (市の活動) (市の活動) (市の活動) (市の活動) (市の活動) (市の活動) (ボスリーのでは、安全運転管理者協議会の活動) (ボスリーのでは、安全運転管理者協議会の活動) (ボスリーのでは、安全運転管理者協議会の活動) (ボスリーのでは、安全運転管理者協議会の活動) (ボスリーのでは、安全運転管理者のでは、安全運転管理者のでは、安全運転管理者のでは、安全運転管理者のでは、多種では、大型のでは、安全運転管理者のでは、多種では、大型のでは											<u> </u>
5年度に		(市の活動)			活動指標講習会出席回数	単位	R3	R4			
東京主な活 安全運転管理者等議習会、車両・道路清掃。通常総会、各種交	- 左座/-										
加容・	った主な活				事業費計	千円	22	22	22		
特定財源 (国・県・他) 干円	川()台)				3 212 221						
特定財源 (国・県・他) 十円					—————————————————————————————————————	十円	22	22	22		
3) 活動による効果 (4) 事業効果を説明する数値データの推移 効果指標 単位 R3 R4 R5 指標の性質 R4とR 参画で新たな知識を得られた対象観点結合 96 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10		この心女主意	E#AV//CW/V//IB-	一连到。	特定財源(国·県·他)	千円					
開発					(うち受益者負担)	千円					
### おいません 参画により新たな知識が得られている。	3)活動	による効果				で値データ	タの推移			['] ↓選択して	て下さい
果説明 を置及び を画により新たな知識が得られている。					効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の
全量及び 参画により新たな知識が得られている。	田豊田田				参画で新たな知識を得られた対象職員割合		100	100	100	値が大きいほど良い	効果は変わ
(また) クリスティア (自動判定)		参画により新	たな知識が得ら	れている。	参画が有意義であると回答した職員の割合	%	100.0	100.0	100.0	値が大きいほど良い	効果は変わ
用(R5とR4の一般財源増減) 費用の増減無し											
用(R5とR4の一般財源増減) 費用の増減無し											
効果	 5)費用:	 対効果結果	(自動判定)								
効果は変わらない指標数 2指標 効果が下がった指標数 0指標 一					※10万円以上の増減により判断				効果		
対象に変わらない 対象に変わらない 対象に変わらない				0指標			毎田川でも。+	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった	1
. 次年度に向けた検討 1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 木県安全運転管理者協議会への参画を継続する。	R5とR4の 交			2.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5.5					\circ		
1) 令和5年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題 木県安全運転管理者協議会への参画を継続する。	票値増減)		指標全体	効果は変わらない		用	費用が増加した				j
	1) 令和	5年度の事	業実施における		見等を踏まえた検討課題、費用え	対効果に	句上のための)課題			
2)上記反省点及び課題を踏まえた、令和6年度及び令和7年度の取組		后少上エスッ゚	=田旦百 たの水 + ニ +	△和←年前が△和った空へ四の							
	2) 上記/				取組説明	Ī					